

国立大学法人

上越教育大学 学校教育学部

入学者選拔要項 2018

# 目 次

1	入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
2	募集人員	2
3	入学者選抜方法	2
4	出願資格	2
5	大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	4
6	一般入試	5
7	推薦入試	6
8	私費外国人留学生の特別入試	6
9	受験上又は修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談	7
10	学生募集要項の発表	7
11	学生募集要項等の入手方法	7
12	出願方法	9
13-1	平成30年度上越教育大学入学者選抜方法等 （一般入試，専門高校・総合学科卒業生入試，アドミッション・オフィス入試）	10
13-2	平成30年度上越教育大学入学者選抜方法等（特別入試）	11
14	平成30年度上越教育大学入学者選抜の実施教科・科目等について	12
15-1	平成30年度特別入試方法等（推薦入試）	13
15-2	平成30年度特別入試方法等（私費外国人留学生特別入試）	14

## 入試関係日程一覧

入 試 方 法	出 願 期 間	試 験 日	合 格 者 の 発 表
推 薦 入 試	平成29年12月11日(月) ～ 12月15日(金)	平成30年1月26日(金)	平成30年2月7日(水)
私費外国人留学生の 特 別 入 試	平成29年12月1日(金) ～ 12月7日(木)		
一 般 入 試 ( 前 期 日 程 )	平成30年1月22日(月) ～ 1月31日(水)	平成30年2月25日(日)	平成30年3月8日(木)
一 般 入 試 ( 後 期 日 程 )		平成30年3月12日(月)	平成30年3月22日(木)

## インターネット出願について

上越教育大学では，平成30年度学部入試（平成29年度実施）から，インターネット出願に全面移行します。

従来の「紙出願」（募集要項に添付の入学志願票等に記入したものを郵送する方法）は行いません。

インターネット出願の詳細は，平成30年度学生募集要項に掲載しますので，ご覧ください。

# 平成30年度上越教育大学入学者選抜要項

## 1 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

上越教育大学では、「上越教育大学学校教育学部における卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施及び入学者受入れの方針」を策定し、公表しています。

以下に、教育の理念・目的、学校教育学部の目標、学校教育学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を示します。

### 1 教育の理念・目的

教員という職業は、豊かな人間性に支えられた専門職である。その専門性には、子供たちの学習と生活を支援でき、そして人類の築き上げた文化を全体として理解・把握する、つまり様々な学問分野の考え方を整理・統合し、人間の文化的営みを理解できる総合的な資質・能力が求められている。

そのため、上越教育大学（以下「本学」という。）は、本学大学憲章に基づき、子供の未来を切り開くことのできる確かな実践力を備え、我が国の教育を担う中核的・指導的な教員の養成を目指している。

### 2 学校教育学部の目標

主として初等教育教員の養成に関する社会的要請に応えるべく、深い人間理解と豊かな学識及び優れた教育技術を備えた教員を養成する。

そのため、教師としての使命感や責任感を育むとともに、社会性や対人関係の力、子供を理解し学級を運営する力、人文科学・社会科学・自然科学・芸術・スポーツについてのバランスのとれた専門的能力とその指導力など、教員に必要な基本的資質と実践的な能力を養成する。

### 3 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

(1) 本学では、以下に掲げる学生を求めている。

ア 教員を目指すために十分な幅広い基礎学力を修得している。【知識・技能】

イ 物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。【思考力・判断力・表現力】

ウ 教員を目指す強い意志を持ち、協調性や人間性に優れ、積極的に学修を進めていくことができる。【学びに向かう態度・人間性】

そのために、一般入試（前期日程）、一般入試（後期日程）、推薦入試の三つの方法で入学者の選抜を行う。

(2) 教員養成カリキュラムを履修するのに必要な、教科にかかわる知識を有する学生を選抜するため、三つの選抜方法とも大学入試センター試験を課す。

(3) 一般入試（前期日程）では、上記(2)に加え、特に、課題探求能力と表現能力に優れ、音楽・美術・体育のいずれかの実技について基礎的な適性を有する学生を選抜するため、小論文と実技検査を課す。

(4) 一般入試（後期日程）では、上記(2)に加え、特に、教職への強い関心・意欲と個人的魅力を持ち、高い基礎学力を有した学生を選抜するため、個別面接試験を課す。

(5) 推薦入試では、上記(2)に加え、特に、教員を目指すための明確なビジョンを持ち、社会全体への幅広い視野を有し、協調性や人間性に優れた学生を選抜するため、集団面接試験を課す。

※卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）は、本学ホームページ（<http://www.juen.ac.jp/050about/010info/faculty.html>）をご覧ください。

## 2 募集人員

学 部	課 程	入学定員	募 集 人 員		備 考
学校教育学部	初等教育教員 養成課程	160人	前期日程	77人	私費外国人留学生は、特別入試により若干人を募集する。
			後期日程	33人	
			推薦入試	50人	

(注) 2年次から、本人の希望と1年次の成績に基づいて、次のいずれかの専修・コースに所属することになります。

- ・ 学校教育専修 (約60人)  
[学校臨床コース, 臨床心理学コース, 幼児教育コース, 教職デザインコース]
- ・ 教科・領域教育専修 (約100人)  
[言語系コース, 社会系コース, 自然系コース, 芸術系コース, 生活・健康系コース]

## 3 入学者選抜方法

入学者の選抜は、次の方法により行います。

- ① 一般入試 (前期日程, 後期日程)
- ② 推薦入試
- ③ 私費外国人留学生の特別入試

## 4 出願資格

### (1) 一般入試

次のいずれかに該当し、かつ、平成30年度大学入試センター試験 (5教科7科目又は6教科7科目 (理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目)) を受験した者です。

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成30年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は平成30年3月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは平成30年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は平成30年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程 (修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。) で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成30年3月修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者 (昭和23年文部省告示第47号)
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則 (平成17年文部科学省令第1号) による高等学校卒業程度認定試験に合格した者 (同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程 (昭和26年文部省令第13号) による大学入学資格検定に合格した者を含む。)

- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの又は平成30年3月31日までに18歳に達するもの  
【上記出願資格⑧により出願する場合は、事前に審査を行う必要があります。詳細については、7月中旬（予定）に本学のホームページ（<http://www.juen.ac.jp/>）で発表しますのでご確認ください。】

## （2）推薦入試

次のいずれかに該当し、かつ、平成30年度大学入試センター試験（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））を受験する者です。

- ① 高等学校又は中等教育学校を平成30年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項及び第103条第1項等の規定に基づき、平成29年度の学年の途中において高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は卒業見込みの者を含む。）
- ② 高等専門学校第3学年を平成30年3月修了見込みの者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年3月31日までに修了見込みの者

## （3）私費外国人留学生の特別入試

次の①から③までのすべてに該当し、かつ、独立行政法人日本学生支援機構が平成29年（2017年）に実施する「日本留学試験」及びETS（Educational Testing Service）が平成28年（2016年）1月以降に実施する「TOEFL（Test of English as a Foreign Language）」を受験し、その成績を証明できる者です。（日本留学試験で受験を要する教科・科目等は、14ページ参照）

- ① 日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）
- ② 次のいずれかに該当する者
  - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは平成30年（2018年）3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
  - イ 国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベルなど、外国の大学入学資格を有する者で平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの
  - ウ 国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI）の認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了した者で平成30年（2018年）3月31日までに18歳に達するもの
- ③ 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格「留学」を有する者又は入学までに在留資格「留学」を取得できる見込みの者

## 5 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

一般入試及び推薦入試に出願する者は、次に掲げる平成30年度大学入試センター試験の5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目）の受験を要します。

教科	科目及び科目選択方法
国語	『国語』
地理歴史	「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」,
公民	「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 『倫理, 政治・経済』
理科	a: 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2科目 b: 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目 c: 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2科目 並びに「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1科目 d: 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2科目
数学	「数学I」, 『数学I・数学A』から1科目 「数学II」, 『数学II・数学B」, 『簿記・会計」, 『情報関係基礎』から1科目
外国語	『英語』 (注5), 『ドイツ語』, 『フランス語』, 『中国語』, 『韓国語』から1科目

(注1) 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

(注2) 「理科」でa又はbを選択する場合は、「地理歴史、公民」から2科目を選択してください。また、c又はdを選択する場合は、「地理歴史、公民」から1科目を選択してください。

(注3) 「地理歴史、公民」で1科目を選択し、「理科」でcを選択する場合は、理科において同一名称を付した出題科目（「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」）の組合せを選択することはできません。ただし、「地理歴史、公民」で2科目を選択し、「理科」でcを選択する場合は、この限りではありません。この場合における本学の成績利用方法は、(注4) 2.のとおりです。

(注4) [地理歴史、公民から2科目]、[理科からc又はdにより3科目又は2科目]を受験した場合は、理科の科目選択方法に応じて、次の3科目（理科の基礎を付した科目（2科目の合計）を用いる場合は4科目）の成績を用います。

1. 理科cの科目選択方法で、「物理基礎、化学基礎」と「生物」など、異なる名称を付した出題科目を受験した場合。

ア [地理歴史、公民の第1解答科目]

イ [地理歴史、公民の第2解答科目]、[理科の基礎を付した科目]、[理科の基礎を付していない科目]のうち高得点の2科目（理科の基礎を付した科目を用いる場合は3科目）

2. 理科cの科目選択方法で、「物理基礎」と「物理」など、同一名称を付した出題科目を受験した場合。

ア [地理歴史、公民の第1解答科目]

イ [地理歴史、公民の第2解答科目]

ウ [理科の基礎を付した科目] 又は [理科の基礎を付していない科目] のどちらか高得点の科目

3. 理科dの科目選択方法で受験した場合。

ア [地理歴史、公民の第1解答科目]

イ [理科dで受験した科目の第1解答科目]

ウ [地理歴史、公民の第2解答科目] 又は [理科dで受験した科目の第2解答科目] のどちらか高得点の科目

(注5) 外国語の英語については、「筆記」及び「リスニング」を課します。なお、大学入試センターにおいて英語リスニングを免除された者については、「筆記」のみを課します。

## 6 一般入試

### (1) 前期日程

#### <入試方法>

- ① 大学入試センター試験（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））及び実技検査等の成績並びに調査書の内容を総合して、入学者を選抜します。
- ② 実技検査等は、次によるものとします。
  - ア 小論文  
初等教育教員になるためにふさわしい資質と能力をみます。
  - イ 実技検査（音楽、美術、体育のうちから1科目を選択）  
音楽…音楽表現の基礎的能力と適性をみます。  
美術…造形表現の基礎的能力と適性をみます。  
体育…運動の基礎的能力と適性をみます。
- ③ 大学入試センター試験と実技検査等の配点比率は、5：1とします。  
配点内訳は、次のとおりです。なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。

大学入試センター試験							実技検査等		
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	計	小論文	実技	計
200	100又は200	100 又は200	200	200	200	900	90	90	180

(注1) 外国語の英語については、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を200点満点に換算します。

(注2) 英語リスニングを免除された者については、筆記（200点満点）の得点のみを英語の得点とします。

- ④ 実技検査等は、平成30年2月25日(日)に行います。

### (2) 後期日程

#### <入試方法>

- ① 大学入試センター試験（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））の成績及び面接の評価結果を総合して、入学者を選抜します。
- ② 面接では、初等教育教員になるためにふさわしい意欲、資質、能力、適性等をみます。
- ③ 面接は、次によるものとします。
  - ア 面接形式は、個別面接とします。
  - イ 面接は、3人の面接担当者で行います。
  - ウ 面接は、調査書の内容を併せて総合的に評価します。
- ④ 大学入試センター試験の配点内訳と面接の評価は、次のとおりです。なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。

大学入試センター試験							面接
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	計	
200	100又は200	100 又は200	200	200	200	900	段階評価とする

(注1) 外国語の英語については、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を200点満点に換算します。

(注2) 英語リスニングを免除された者については、筆記（200点満点）の得点のみを英語の得点とします。

- ⑤ 面接は、平成30年3月12日(月)に行います。

## 7 推薦入試

### <推薦要件>

平成30年3月高等学校等を卒業（修了）見込みの者（「4 出願資格」参照）で、次の①から③までのすべてに該当し、かつ、合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者です。なお、各出身学校長が推薦できる人数の制限はありません。

- ① 出身学校長が、初等教育教員になるためにふさわしい意欲、資質、能力、適性等を有する者として、責任をもって推薦する者
  - ② 平成30年度大学入試センター試験（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））を受験する者
  - ③ 調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者
- （注）上記の推薦要件に該当しない者については、出願書類を受理しません。

### <入試方法>

- ① 出身学校長の推薦に基づき、面接及び大学入試センター試験（5教科7科目又は6教科7科目（理科において「基礎を付した科目」を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目））の成績により、入学者を選抜します。
- ② 面接では、初等教育教員になるためにふさわしい意欲、資質、能力、適性等をみます。
- ③ 面接は、次によるものとします。  
ア 面接形式は、受験者5人程度の集団面接とします。  
イ 面接は、5人の面接担当者で行います。  
ウ 面接は、推薦書、自己推薦書及び調査書の内容を併せて総合的に評価します。
- ④ 大学入試センター試験と面接の配点比率は、10：3とします。

配点内訳は、次のとおりです。なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。

大学入試センター試験						計	面接
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語		
200	100又は200		100 又は200	200	200	900	270

（注1）外国語の英語については、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を200点満点に換算します。

（注2）英語リスニングを免除された者については、筆記（200点満点）の得点のみを英語の得点とします。

- ⑤ 合格者の判定は、全受験者を一括して行います。なお、面接の成績が配点の50%以下の場合には、合格者としません。
- ⑥ 面接は、平成30年1月26日（金）に行います。

### <その他>

推薦入試に出願する者は、本学の一般入試にも出願することができます。

## 8 私費外国人留学生の特別入試

### <入試方法>

- ① 独立行政法人日本学生支援機構が平成29年（2017年）に実施する「日本留学試験」、ETS（Educational Testing Service）が平成28年（2016年）1月以降に実施する「TOEFL（Test of English as a Foreign Language）」及び最終学校の成績並びに本学の実施する小論文、面接を総合して、入学者を選抜します。
- ② 小論文及び面接においては、初等教育教員になるためにふさわしい意欲、資質、能力、適性等をみます。
- ③ 小論文及び面接は、平成30年（2018年）1月26日（金）に行います。



## 9 受験上又は修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障害等があることにより、受験上又は修学上の配慮を必要とする場合は、次の期日までに本学に必ず申し出てください。（申出が必要な障害等の程度及び申出に基づき相談が必要となった場合の具体的な事項については、「学生募集要項」で確認してください。）

※ 受験上の配慮は必要としない場合でも、修学上の配慮を必要とする者は、必ず申し出てください。

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| ○ 推薦入試          | } 平成29年11月10日(金)まで |
| ○ 私費外国人留学生の特別入試 |                    |
| ○ 一般入試          |                    |

## 10 学生募集要項の発表

一般入試、推薦入試及び私費外国人留学生の特別入試についての出願期間、試験日程、試験場、出願手続、その他入学者選抜に必要な詳細事項は、平成29年11月上旬（予定）に「学生募集要項」により発表します。

## 11 学生募集要項等の入手方法



(1) 学生募集要項（PDF版）は、本学ホームページから閲覧・ダウンロードできます。（PDF版も冊子体も同じ内容です。）

大学案内はデジタルパンフレットでご覧いただけます。

なお、学生募集要項（入学志願票等は含みません。）又は大学案内の冊子体を希望する場合は、次の(2)、(3)、(4)のいずれかで請求してください。

(2) テレメールで請求する

① 下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

上越教育大学のホームページから	<a href="http://www.juen.ac.jp/">http://www.juen.ac.jp/</a> の資料請求からアクセス	 携帯サイト
テレメールのホームページから (パソコン・携帯電話・スマートフォン)	<a href="http://telemail.jp">http://telemail.jp</a>	
自動音声応答電話の場合	<b>IP電話 050-8601-0101 (24時間受付)</b> ※ IP電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約12円です。	

② 請求を希望する資料請求番号（6桁）をプッシュ又は入力してください。

資料名	資料請求番号	料金 (送料含む)	発送開始日
大学案内	<b>562702</b>	215円	随時発送中
学生募集要項	<b>582702</b>	180円	11月上旬
学生募集要項 + 大学案内	<b>542702</b>	250円	11月上旬



③ あとはガイダンスに従ってください。

- ※注
- ・請求から1～2日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては3日以上かかる場合もあります。2週間以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。
  - ・資料請求終了時及び受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。
  - ・料金は、お届けした資料に同封されている料金支払い用紙の支払方法に従いお支払いください。
  - ・自動音声応答電話によるご請求の場合、住所、名前の登録時は、ゆっくりはっきりとお話してください。登録された音声不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。

■テレメールでの請求方法についてのお問い合わせは  
 テレメールカスタマーセンター  
 電話 050-8601-0102 (9:30～18:00)まで

### (3) モバっちよで請求する

①下記よりモバっちよにアクセスしてください。お急ぎの場合は宅配便の利用もできます。

上越教育大学の ホームページから	<a href="http://www.juen.ac.jp/">http://www.juen.ac.jp/</a> の資料請求からアクセス	 携帯サイト
モバっちよのホームペ ージから (パソコン・携帯電話・ スマートフォン)	<a href="http://djc-mb.jp/juen3/">http://djc-mb.jp/juen3/</a>	

②料金は以下のとおりです。(宅配便の場合は別料金)

資料名	料金 (送料含む)	発送開始日
大学案内	200円	随時発送中
学生募集要項	200円	11月上旬
学生募集要項 + 大学案内	300円	11月上旬

- ※注
- ・お支払い時、資料毎に支払い手数料が必要です。(携帯・スマホ払い、クレジットカード決済は50円、コンビニ後払いは126円)

■モバっちよでの請求方法についてのお問い合わせは  
 大学情報センター株式会社 モバっちよカスタマーセンター  
 電話 050-3540-5005 (平日10:00～18:00)まで

### (4) 本学への直接請求

直接大学の窓口で請求する場合は、月曜日から金曜日(休日及び年末年始(12月29日から1月3日まで)は除く。)の9時から17時の間にお願いします。

郵送で請求する場合は、封筒の表に「**学部学生募集要項請求**」と朱書きし、角形2号(縦33cm、横24cm程度)の**返信用封筒**(請求者の郵便番号、住所、氏名を明記し、300円切手をはり付けたもの)を**同封**し、請求してください。

請求先: 上越教育大学入試課

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地

電話 025-521-3294

## 12 出願方法

平成30年度入試は、入学志願者がインターネットを利用して、専用のサイトから志願者情報を入力して出願する「**インターネット出願**」となります。

従来の「紙出願」（募集要項に添付の入学志願票等に記入したものを郵送する方法）は行っておりません。

インターネット出願では、学生募集要項（冊子体）の取り寄せが不要（pdfで公開します）となり、Web入力に際してエラーチェック機能により願書の記入誤りが防げます。また、検定料の支払方法としてコンビニエンスストアやクレジットカード等の利用が可能です。

ご利用にあたってはメールアドレス・パソコン（インターネット接続済）・プリンター（A4出力）が必要です。

インターネット出願において、必要事項の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了ではありません。出願に必要な書類を郵送する必要があります。出願書類の提出期限をよく確認し、郵送に要する日数を考慮したうえで期限に間に合うよう手続きしてください。

なお、事情によりインターネットを利用することができない方は、本学入試課へご連絡ください。

<インターネット出願の流れ>

出願前に必要書類の事前準備をお願いします。（調査書等）

- ・センター試験成績請求票
- ・調査書
- ・顔写真データ（ファイル形式（jpeg, jpg, png, bmp））
- ・推薦書（推薦入試のみ）
- ・自己推薦書（推薦入試のみ）

### ① インターネット出願サイトへアクセス

本学入試情報ホームページ

→ <http://www.juen.ac.jp/060admissions/020faculty/index.html> または、

インターネット出願サイト

→ [e-apply.jp/e/juen/index.html](http://e-apply.jp/e/juen/index.html) からアクセス

※ 「インターネット出願登録期間」以外には出願登録はできません。

### ② 出願期間

	インターネット出願登録期間 及び検定料支払期間	出願書類提出期限
推薦入試	平成29年12月11日（月）10時～ 平成29年12月15日（金）13時まで	平成29年12月15日（金）17時必着
一般入試 （前期日程、 後期日程）	平成30年1月22日（月）10時～ 平成30年1月31日（水）13時まで	平成30年1月31日（水）17時必着

詳細については、学生募集要項（11月上旬発表予定、本学ホームページに掲載）で、ご確認ください。



平成30年度上越教育大学入学者選抜方法等(特別入試)

選 抜 方法等	推 薦 入 試								私 費 外 国 人 留 学 生 特 別 入 試	帰国子女・社会人等の ための特別入試			そ の 他 の 入 試	備 考	
	入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査 を免除し調査書を主な資料として判定する									推 薦 入 試 募 集 人 員	帰 国 子 女	中 国 引 揚 者 等 子 女			社 会 人
	個別学力 検査を免 除し、大 学入試セ ンター試 験を課す る	個別学力 検査及び 大学入試 センター 試験を免 除する	実 技 検 査 等					推 薦 入 試 募 集 人 員							
実技検 査を課 する			面接を 行う	小論文 を課す る	外国語 におけ るリス ニング を課す る	その他									
学部・ 学科名															
学 校 教 育 学 部 ・ 初 等 教 育 教 員 養 成 課 程	○	×	×	○	×	×	×	50人	○	×	×	×	×		

平成30年度上越教育大学入学者選抜の実施教科・科目等について

学部・学科等名 及び入学定員等  (平成29年度 志願倍率)	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の 入試方法等			
		教科	科目及び科目選択方法	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	外国語	小論文	実技 検査		面接	配点 合計	
学校教育学部  初等教育教員 養成課程  前期 77 後期 33 その他 50  [4.4]	前期  2月25日	国語	『国語』	その他	小論文		センター試験	200	*100 又は *200		200	*100 又は *200	200				900	推薦 外国人  追加合格 欠員補充	
		地理 歴史	「世界史A」,「世界史B」,「日本史A」, 「日本史B」,「地理A」,「地理B」	から1 又は2科目 (注1)	理科で a又はcを 選択する場 合は4科目	実技検査 (音楽, 美術, 体育 から1)	センター試験	200	*100 又は *200	200	*100 又は *200	200	90	90	180				
		公民	「現代社会」,「倫理」,「政治・経済」,『倫理,政治・経済』																
	理科	a:「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」から2科目 b:「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から1科目 c:「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」から2科目 並びに「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から1科目 d:「物理」,「化学」,「生物」,「地学」から2科目	a~dの いずれか 一つ	b又はdを 選択する場 合は3科目  (注2)(注3)(注4)	計	200	*100 又は *200	200	*100 又は *200	200	90	90	1080						
	後期  3月12日	数学	「数学Ⅰ」,『数学Ⅰ・数学A』から1科目 「数学Ⅱ」,『数学Ⅱ・数学B」,『簿記・会計」, 『情報関係基礎』から1科目	の計2科目	その他	面接		センター試験	200	*100 又は *200		200	*100 又は *200	200					900
		外国 語	『英語』(注5),『ドイツ語』,『フランス語」, 『中国語』,『韓国語』から1科目					個別学力検査等								◎			
計		200	*100 又は *200	200	*100 又は *200	200			900										

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- (注1) 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。  
 (注2) 「理科」でa又はbを選択する場合は、「地理歴史、公民」から2科目を選択してください。また、c又はdを選択する場合は、「地理歴史、公民」から1科目を選択してください。  
 (注3) 「地理歴史、公民」で1科目を選択し、「理科」でcを選択する場合は、理科において同一名称を付した出題科目（「物理基礎」と「物理」、  
 「化学基礎」と「化学」、  
 「生物基礎」と「生物」、  
 「地学基礎」と「地学」）の組合せを選択することはできません。ただし、「地理歴史、公民」で2科目を選択し、「理科」でcを選択する場合は、この限りではありません。この場合における本学の成績利用方法は、(注4) 2. のとおりです。  
 (注4) [地理歴史、公民から2科目]、[理科からc又はdにより3科目又は2科目]を受験した場合は、理科の科目選択方法に応じて、次の3科目（理科の基礎を付した科目（2科目の合計）を用いる場合は4科目）の成績を用います。  
 1. 理科cの科目選択方法で、「物理基礎、化学基礎」と「生物」など、異なる名称を付した出題科目を受験した場合。  
 ア [地理歴史、公民の第1解答科目]  
 イ [地理歴史、公民の第2解答科目]、[理科の基礎を付した科目]、[理科の基礎を付していない科目]のうち高得点の2科目（理科の基礎を付した科目を用いる場合は3科目）  
 2. 理科cの科目選択方法で、「物理基礎」と「物理」など、同一名称を付した出題科目を受験した場合。  
 ア [地理歴史、公民の第1解答科目]  
 イ [地理歴史、公民の第2解答科目]  
 ウ [理科の基礎を付した科目] 又は [理科の基礎を付していない科目] のどちらか高得点の科目  
 3. 理科dの科目選択方法で受験した場合。  
 ア [地理歴史、公民の第1解答科目]  
 イ [理科dで受験した科目の第1解答科目]  
 ウ [地理歴史、公民の第2解答科目] 又は [理科dで受験した科目の第2解答科目] のどちらか高得点の科目  
 (注5) 外国語の英語については、「筆記」及び「リスニング」を課します。なお、大学入試センターにおいて英語リスニングを免除された者については、「筆記」のみを課します。

【個別学力検査等】欄

前期日程の実技検査は、音楽、美術、体育のうちから1科目を選択してください。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- ①配点に\*印を付してある教科は、選択教科を表します。
- ②地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。
- ③外国語の英語については、筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を200点満点に換算します。
- ④英語リスニングを免除された者については、筆記（200点満点）の得点のみを英語の得点とします。
- ⑤後期日程における個別学力検査等の面接（◎）は、段階評価とします。

実施学部・学科名	学校教育学部 初等教育教員養成課程																							
募集人員	50人																							
出願要件	<p>平成30年3月高等学校等を卒業(修了)見込みの者(「4 出願資格」参照)で、次の①から③までのすべてに該当し、かつ、合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者です。なお、各出身学校長が推薦できる人数の制限はありません。</p> <p>① 出身学校長が、初等教育教員になるためにふさわしい意欲、資質、能力、適性等を有する者として、責任をもって推薦する者</p> <p>② 平成30年度大学入試センター試験(5教科7科目又は6教科7科目(理科において「基礎を付した科目」)を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目)を受験する者</p> <p>③ 調査書の全体の評定平均値が3.5以上の者</p> <p>※ 大学入試センター試験で受験を要する教科・科目</p> <table border="1" data-bbox="368 517 1457 875"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科目及び科目選択方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>『国語』</td> </tr> <tr> <td>地理歴史</td> <td>「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理・政治・経済」から1又は2科目(注1)</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td></td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>a:「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目 b:「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目 c:「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目並びに「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目 d:「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」から1科目 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>『英語』(注5)、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目</td> </tr> </tbody> </table> <p>理科で a 又は c を選択する場合は4科目 b 又は d を選択する場合は3科目(注2)、(注3)、(注4)</p> <p>理科dの計2科目</p> <p>(注1) 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。</p> <p>(注2) 「理科」で a 又は b を選択する場合は、「地理歴史、公民」から2科目を選択してください。また、c 又は d を選択する場合は、「地理歴史、公民」から1科目を選択してください。</p> <p>(注3) 「地理歴史、公民」で1科目を選択し、「理科」でcを選択する場合は、理科において同一名称を付した出題科目(「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」)の組合せを選択することはできません。ただし、「地理歴史、公民」で2科目を選択し、「理科」でcを選択する場合は、この限りではありません。この場合における本学の成績利用方法は、(注4) 2. のとおりです。</p> <p>(注4) 「地理歴史、公民」から2科目、[理科からc又はdにより3科目又は2科目]を受験した場合は、理科の科目選択方法に応じて、次の3科目(理科の基礎を付した科目(2科目の合計)を用いる場合は4科目)の成績を用います。</p> <p>1. 理科cの科目選択方法で、「物理基礎、化学基礎」と「生物」など、異なる名称を付した出題科目を受験した場合。</p> <p>ア [地理歴史、公民の第1解答科目] イ [地理歴史、公民の第2解答科目]、[理科の基礎を付した科目]、[理科の基礎を付していない科目]のうち高得点の2科目(理科の基礎を付した科目を用いる場合は3科目)</p> <p>2. 理科cの科目選択方法で、「物理基礎」と「物理」など、同一名称を付した出題科目を受験した場合。</p> <p>ア [地理歴史、公民の第1解答科目] イ [地理歴史、公民の第2解答科目] ウ [理科の基礎を付した科目] 又は [理科の基礎を付していない科目] のどちらか高得点の科目</p> <p>3. 理科dの科目選択方法で受験した場合。</p> <p>ア [地理歴史、公民の第1解答科目] イ [理科dで受験した科目の第1解答科目] ウ [地理歴史、公民の第2解答科目] 又は [理科dで受験した科目の第2解答科目] のどちらか高得点の科目</p> <p>(注5) 外国語の英語については、「筆記」及び「リスニング」を課します。なお、大学入試センターにおいて英語リスニングを免除された者については、「筆記」のみを課します。</p>	教科	科目及び科目選択方法	国語	『国語』	地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理・政治・経済」から1又は2科目(注1)	公民		理科	a:「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目 b:「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目 c:「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目並びに「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目 d:「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目	数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」から1科目 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目	外国語	『英語』(注5)、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目									
教科	科目及び科目選択方法																							
国語	『国語』																							
地理歴史	「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理・政治・経済」から1又は2科目(注1)																							
公民																								
理科	a:「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目 b:「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目 c:「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2科目並びに「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1科目 d:「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目																							
数学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」から1科目 「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1科目																							
外国語	『英語』(注5)、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1科目																							
入試方法等	<p>(1) 出身学校長の推薦に基づき、面接及び大学入試センター試験(5教科7科目又は6教科7科目(理科において「基礎を付した科目」)を選択する場合は、5教科8科目又は6教科8科目)の成績により、入学者を選抜します。</p> <p>(2) 面接では、初等教育教員になるためにふさわしい意欲、資質、能力、適性等をみます。</p> <p>(3) 面接は、次によるものとします。</p> <p>ア 面接形式は、受験者5人程度の集団面接とします。</p> <p>イ 面接は、5人の面接担当者で行います。</p> <p>ウ 面接は、推薦書、自己推薦書及び調査書の内容を併せて総合的に評価します。</p> <p>(4) 大学入試センター試験と面接の配点比率は、10:3とします。</p> <p>配点内訳は、次のとおりです。なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。</p> <table border="1" data-bbox="440 1682 1214 1771"> <thead> <tr> <th colspan="7">大学入試センター試験</th> <th rowspan="2">面接</th> </tr> <tr> <th>国語</th> <th>地理歴史</th> <th>公民</th> <th>理科</th> <th>数学</th> <th>外国語</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>200</td> <td>100又は200</td> <td>100</td> <td>又は200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>900</td> <td>270</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 外国語の英語については、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計点を200点満点に換算します。</p> <p>(注2) 英語リスニングを免除された者については、筆記(200点満点)の得点のみを英語の得点とします。</p> <p>(5) 合格者の判定は、全受験者を一括して行います。なお、面接の成績が配点の50%以下の場合には、合格者としません。</p>	大学入試センター試験							面接	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	計	200	100又は200	100	又は200	200	200	900	270
大学入試センター試験							面接																	
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語	計																		
200	100又は200	100	又は200	200	200	900	270																	
出願期間	平成29年12月11日(月)～平成29年12月15日(金)																							
入試期日	平成30年1月26日(金)																							
合格発表日	平成30年2月7日(水)																							
その他	推薦入試に出願する者は、本学の一般入試にも出願することができます。																							

実施学部・学科名	学校教育学部 初等教育教員養成課程
募集人員	若干人
出願要件	<p>次の①から③までのすべてに該当し、かつ、独立行政法人日本学生支援機構が平成29年(2017年)に実施する「日本留学試験」及びE T S (Educational Testing Service) が平成28年(2016年)1月以降に実施する「TOEFL (Test of English as a Foreign Language)」を受験し、その成績を証明できる者です。</p> <p>① 日本国籍を有しない者(日本国永住許可を得ている者を除く。)</p> <p>② 次のいずれかに該当する者</p> <p>ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは平成30年(2018年)3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>イ 国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベルなど、外国の大学入学資格を有する者で平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>ウ 国際的な評価団体(WASC, CIS, ACISI)の認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了した者で平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>③ 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格「留学」を有する者又は入学までに在留資格「留学」を取得できる見込みの者</p> <p>※ 日本留学試験で受験を要する教科・科目等</p> <p>(1) 受験を要する教科・科目</p> <p>① 日本語</p> <p>② 理科又は総合科目のいずれか</p> <p>③ 数学</p> <p>注1 「理科」は物理・化学・生物からいずれか2科目を受験してください。</p> <p>2 「数学」はコース1, コース2のいずれかを受験してください。</p> <p>(2) 出題言語 日本語を選択してください。英語による出題を選択することは認めません。</p> <p>(3) 利用する回 平成29年(2017年)の6月及び11月に実施された試験の成績を利用するので、いずれかを受験してください。</p>
入試方法等	<p>(1) 独立行政法人日本学生支援機構が平成29年(2017年)に実施する「日本留学試験」、E T S (Educational Testing Service) が平成28年(2016年)1月以降に実施する「TOEFL (Test of English as a Foreign Language)」及び最終学校の成績並びに本学の実施する小論文、面接を総合して、入学者を選抜します。</p> <p>(2) 小論文及び面接においては、初等教育教員になるためにふさわしい意欲、資質、能力、適性等をみます。</p>
出願期間	平成29年12月1日(金)～平成29年12月7日(木)
入試期日	平成30年1月26日(金)
合格発表日	平成30年2月7日(水)
その他	







2018

## 入学者選抜要項

平成29年7月発行

編集発行 ■ 上越教育大学入試課

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地

tel. 025-521-3294

<http://www.juen.ac.jp/>

リサイクル適性④

この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。